

学校だより No. 4
青森市立佃小学校
令和4年6月30日発行
◆教育目標◆
あかるく・かしこく・たくましく

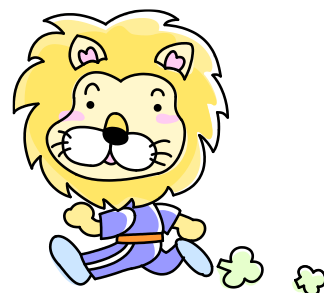
全校児童数463名
男子 226名
女子 237名

青森県の課題克服へ… 本校の取組 ~ちょっと大きですが~

校長 山田 彰利

天気の良い日、中休みや昼休みに校庭に行くと、校庭を走っている子たちに出会います。また、走り終えて息を弾ませている子や「今日は5周走ったよ」などと教えてくれる子もいます。4月からの3ヶ月で400周走った子もいます。鉄棒や雲梯のところに行くと、学年関係なく、できる技で遊んだり、新しい技に挑戦したりしている子がたくさんいます。列を作って順番待ちをするほどです。身体を動かすことが大好きな子が多くいることがうかがえます。一方、マラソンの周回がなかなか進まない子、身体を動かすことはちょっと…、という子がいることも事実です。

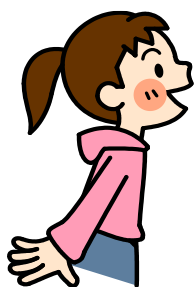
さて、青森県の子供の課題は、小・中学生の肥満傾向です。三村知事の講話を聞く機会があるのですが、この課題に触れないことはありません。青森市も同様で、やはり小・中学生の肥満傾向の割合は、全国を上回っています。大人の塩分摂取過多と並んで、生活習慣病につながりかねない、大きな課題です。



こうした課題を克服すべく、青森市では、毎年いくつかの小学校を指定して「**小学生のための食育チャレンジ・プログラム**」事業を実施しています。「食」「運動」「健康」に関する学習を体系的に行うことで、健康的な生活習慣づくりを推進・実践し、習慣化していこうとするものです。バランスのよい食事の摂取、休み時間の遊びや体育なども含めた一日60分の運動、規則正しい生活習慣などを実践していくことで青森の課題を克服しようという取組です。今年度、この事業に佃小学校が指定されました。

先日「生活・運動チャレンジシート」への取組をご家庭にお願いしたところですが、この取組は、年間3回行います。また、年度の後半には、子供たちの意識がどのように変化したか、アンケート調査も実施します。学校で学んだことを実践・習慣化し、青森の課題を克服するため、ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

元気なあいさつを心がけています



あ	あかるく
い	いつでも
さ	さきに
つ	つづけて

左の標語を、教室や入口に掲示しています。朝、児童玄関にいますと、毎日、「先に」「明るく」あいさつをしてくれる子がいます。思わず笑顔になってしまいます。そうした子を増やしていきたいと思っています。